

③-2 評価票：気管カニューレ内部吸引(侵襲的人工呼吸療法)

利用者

受講者

実施手順	評価項目		評価					
	回数		演習	()回目	()回目	()回目	()回目	
	月日		/	/	/	/	/	
	時間		:	:	:	:	:	
実施準備	1	流水と石けんで、手洗いをする。						
	2	医師の指示書を確認する。						
	3	対象者本人・家族もしくは記録にて、体調を確認する。						
	4	気管カニューレに固定ヒモが結んである場合はほどいておき、少しコネクターを緩めておいても良い。						
実施	5	吸引の必要性を説明し、対象者の同意を得る。						
	6	吸引の環境、対象者の姿勢を整える。						
	7	気管カニューレの周囲、固定状態及び喀痰の貯留を示す呼吸音の有無を観察する。						
	8	流水と石けんで手洗い、あるいは速乾性擦式手指消毒剤で手洗いをする。						
	9	使い捨て手袋をする。場合によってはセッシを持つ。						
	10	吸引カテーテルを不潔にならないように取り出し、吸引器に連結した接続管に接続する。						
	11	吸引器のスイッチを入れる。						
	12	決められた吸引圧になっていることを確認する。						
	13	(乾燥法の場合)吸引カテーテルと接続管の内腔を洗浄水で洗い流す。(薬液浸漬法の場合)吸引カテーテルの外側の薬液が残らないように、アルコール綿で先端に向かって拭き取り、吸引カテーテルと接続管の内腔を洗浄水等で洗い流す。						
	14	吸引カテーテルの先端の水をよく切った後、吸引カテーテルの外側を、アルコール綿で先端に向かって拭き取る。						
	15	吸引開始の声かけをする。						
	16	人工呼吸器から空気が送り込まれ、胸が盛り上がるのを確認後、フレキシブルチューブのコネクターを気管カニューレからはずし、フレキシブルチューブをきれいなタオル等の上に置く。						
	17	適切な長さまで挿入し、適切な吸引時間で気管カニューレ内部を吸引する。						
	18	吸引を終了したら、すぐに、フレキシブルチューブ先端のコネクターを気管カニューレに接続し、正しく接続できているか人工呼吸器の作動状況や状態を確認する。						
	19	対象者に吸引が終わったことを告げ、喀痰がとり切れたかを確認する。						
	20	吸引カテーテルの外側をアルコール綿で拭き取った後、吸引カテーテルと接続管の内腔を、洗浄水等で洗い流す。						
	21	非利き手で吸引器のスイッチを切る。						
	22	(単回使用の場合)吸引カテーテルを連結管からはずし、破棄する。(乾燥法の場合、薬液浸漬法の場合)吸引カテーテルを連結管からはずし、衛生的に保管容器に戻す。						
	23	手袋をはずす。セッシを使用した場合は元に戻す。						
	24	対象者に吸引が終わったことを告げ、喀痰がとり切れたかを確認する。						
	25	人工呼吸器が正常に作動していること、気道内圧、酸素飽和度等を確認する。						
	26	体位や環境を整える。						
	27	対象者の顔色、呼吸状態、吸引物の量や性状、気管カニューレ周囲や固定状況等を観察する。						
	28	流水と石けんで、手洗いをする。						
	報告	29	指導看護師に対し、吸引物、吸引前後の対象者の状態等を報告する。ヒヤリ・ハット、アクシデントがあれば、あわせて報告する。					
	片付け	30	吸引びんの廃液量が70~80%になる前に廃液を捨てる。					
		31	保管容器や洗浄水等を適宜交換する。					
	記録	32	実施記録を書く。ヒヤリハットがあれば、業務の後に記録する。					
アの個数計								
評価者(指導看護師)サイン								